

横浜さかえ男声合唱団

特別企画コンサート2025

～さかえ男声と混声合唱を楽しむ会と共に～



2025年4月30日(水)

鎌倉芸術館 大ホール



後援 横浜市栄区 栄区文化協会 栄区音楽協会

ご挨拶

本日はお忙しい中をご来場下さいまして誠にありがとうございます。

私達横浜さかえ男声合唱団は、コロナ前に「混声合唱の名曲 水のいのちを一緒に歌いませんか」という呼びかけを行いました。その結果 21 名の女声の皆さんと共にコロナ明けの 2023 年 4 月に待望のコンサートを実施することができました。その時に感じた混声合唱の楽しさを再認識した私たちは、このプロジェクトを継続することにして「さかえ男声と混声合唱を楽しむ会」と名を改めご参加を募った所、今度は女声が 30 名、男声陣もさかえ男声以外の人が 5 名増えるなど、大勢の方々と練習を続けて参りました。

本日は、第 1 部に混声合唱で最初に「群青」を歌い、続けて「浜辺の歌」など 4 曲を歌います。「群青」は、東日本大震災で事故を起こした福島第一原子力発電所の避難地域にある小高中学校の小田美樹先生が作曲されましたが、歌詞は生徒たちの友達への思いを先生がまとめて歌詞にしています。震災の時 1 年生だった生徒達の大多数が全国に避難して、残った生徒は僅か 7 名で、全国に散り散りになった友達への気持ちを込めて、この中学の絆を表す色「群青」を題名にしています。私達もその生徒さん達の事を思いながら歌わせて頂きます。

第 2 部は男声合唱で「希望」ほか 8 曲、第 3 部は私たちがまだ栄区民合唱団男声部として活動していた時に歌った「山に祈る」をお聞き頂きます。この歌は学生時代に歌った経験のある方が多く、私たちにとって思い出の懐かしい曲でもあります。山で遭難した息子の手記を母親が朗読して物語を進める構成となっているこの組曲は、田畑さんによる朗読でひときわ感動のステージになることと思います。最後までごゆっくりとお楽しみください。

最後になりましたが、今後とも皆様のご支援、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

団長 塩山 弘

練習風景



プログラム

指揮 角 祐一 ピアノ 永井 博子 ナレーター 田畑 智朱希 *印 編曲 角 祐一

第1部 混声合唱を歌う

- | | | |
|----------|-------------------------------|-----------------------------------|
| ① 群青 | 作詞 福島県相馬市小高中学校
平成 24 年度卒業生 | 作曲 小田 美樹
編曲 信長 貴富 |
| ② 海はなかった | 作詞 岩間 芳樹 | 作曲 廣瀬 量平 |
| ③ 浜辺の歌 | 作詞 林 古溪 | 作曲 成田 為三
編曲 林 光 |
| ④ 百万本のバラ | 作詞 ヴォズネセンスキー
訳詞 松山 善三 | 作曲 パウルス
編曲 赤堀 文雄 |
| ⑤ 乾杯の歌 | | 作曲 E.A.Fenstad
編曲 Roger Wagner |

第2部 さかえ男声 青春のポップスを歌う

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| ① 希望 * | 作詞 藤田 敏明 | 作曲 いずみたく |
| ② 銀色の道 * | 作詞 塚田 茂 | 作曲 宮川 泰 |
| ③ 旅人よ * | 作詞 岩谷 時子 | 作曲 弾 厚作 |
| ④ さよならをするために * | 作詞 石坂 浩二 | 作曲 坂田 晃一 |
| ⑤ 思い出の渚 * | 作詞 鳥塚 繁樹 | 作曲 加瀬 邦彦 |
| ⑥ 異邦人 * | 作詞 久保田 早紀 | 作曲 久保田 早紀 |
| ⑦ わが人生に悔いなし * | 作詞 なかにし礼 | 作曲 加藤 登紀子 |
| ⑧ 熱き心に * | 作詞 阿久 悠 | 作曲 大滝 詠一 |

～ 休憩 ～

第3部 混声合唱組曲「山に祈る」

構成・作詞・作曲 清水 脩

- ① 山の歌
- ② リュック・サックの歌
- ③ 山小屋の夜
- ④ 山を憶う
- ⑤ 吹雪の歌
- ⑥ お母さんごめんなさい

曲目解説

第1部 混声合唱を歌う

1. 群青

2011年3月、福島県南相馬市小^{おだか}高^{たか}中学校の1年生106名は東日本大震災で2名が津波の犠牲となり、その後の原発事故により97名が北は北海道、南は長崎まで散り散りになりました。2年生になって残った7名の子供たちは全国に散らばった仲間を思い、「みんな遠くへ行ったね」「でも空はつながってるね」「今頃何してるかな」等とつぶやいていました。その声を音楽の小田美樹先生が拾って歌詞に仕上げてメロディーをつけ、3年生になった卒業式で演奏されました。この曲を聞いた多くの人たちの感動がこの歌を全国に広げることになり、多くの合唱団で歌われています。

2. 海はなかった

この歌は昭和50年のNコン高等学校の部課題曲として作曲されました。大きな評判を呼んだことから後に4曲を付け加えて、混声合唱組曲「海の詩」が生まれました。組曲はたちまち人気となり女声合唱や男声合唱にも編曲されて、今や世代を超えて歌い継がれています。

3. 浜辺の歌

少年時代を辻堂で過ごした林古溪が作詞していることから、浜辺とは辻堂海岸と言われています。林古溪が3番の歌詞を歌われるのを嫌ったということで通常は2番まで歌われることが多い歌ですが日本の叙情歌として長く歌い継がれている名曲です。

4. 百万本のバラ

この歌はもともとはラトビアで「マールが与えた人生」という子守歌として生まれた歌でした。翌年旧ソ連のアンドレイ・ヴォズネンスキーが、踊り子に恋した画家の逸話に基づく歌詞に書き換えて旧ソ連の人気歌手だったアーラ・ブガチョワによって歌われました。これを聞いた加藤登紀子が自分で訳詞して日本に紹介しました。貧しい絵描きが恋をした女優に町中のバラを買って女優が泊まっているホテルの前の広場を埋め尽くした・・・と歌うこの歌は日本でも大ヒットし加藤登紀子の大事な持ち歌として今もコンサートでは必ず歌われています。

5. 乾杯の歌

アメリカメイン州立大学の校歌として知られている曲です。もともとは器楽曲として作曲されたものでしたが、メイン州立大学の学生がこの曲を気に入り、採譜したメロディーに寮で同室だった学生が詩をつけて歌われるようになりました。

第2部 さかえ男声 青春のポップスを歌う

1. 希望

もともこの歌はミュージカルのために作曲されたのですが、昭和44年にフォー・セインツがレコード発売し、翌45年岸洋子が歌って大ヒット、レコード大賞歌唱賞を受賞しました。愛に支えられていれば希望をもって人生の旅も歩んで行けるという愛の讃歌になっています。

2. 銀色の道

昭和41年NHK「夢をあなたに」という番組の「今月の歌」として作曲されました。毎週ダークダックスが歌い人気が出て、後にザ・ピーナッツも歌ってコーラスの競演となりました。ダークダックスのコンサートではこの歌がオープニング曲としてよく歌われていました。

3. 旅人よ

映画若大将シリーズで活躍した加山雄三はデビュー当時からギターやエレキなどでメロディーを紡ぎ、弾厚作の名前で多くの歌を作曲しています。先に曲を作っていいものができればあとから岩谷時子が詩を当てはめるスタイルでこの歌も昭和41年に誕生しました。多くの作品の中でこの

歌が一番好きだというファンもたくさんいるようです。

4. さよならをするために

テレビドラマ「2丁目3番地」の続編として制作された「3丁目4番地」の主題歌として昭和47年ビリーバンバンが歌いました。ドラマに出演していた石坂浩二が作詞したもので、ビリーバンバンとしては白いブランコ以来のヒット曲となりました。

5. 思い出の渚

昭和41年11月に発売されたザ・ワイルド・ワンズのデビュー曲です。ボーカルを担っていた鳥塚しげきが葉山海岸を歩いていた時にこの詩の一節が浮かび徐々に一つの詩にまとめたものに加瀬邦彦がメロディーをつけました。さわやかな歌声は当時の若者を魅了し、ザ・ワイルド・ワンズは加山雄三に続く湘南ポップスの人気バンドになりました。

6. 異邦人

もとは「白い朝」のタイトルで久保田早紀が作曲したものでしたが、三洋電機のコマーシャルソングに採用されることになり、「異邦人」～シルクロードのテーマ～というサブタイトルをつけて昭和54年10月に発売されました。あれよあれよという間に発売後3か月で100万枚を突破するという関係者も予想外の大ヒットになり、一躍久保田早紀をスターダムに押し上げた歌です。

7. わが人生に悔いなし

石原裕次郎から直接依頼されてなかにし礼が作詞を担当し、作曲はなかにしが信頼する加藤登紀子が担当しました。昭和62年に発売されたこの歌が、裕次郎最後の歌となりました。静養中のハワイでレコーディングされましたが、当時病が進行しており録音には3日間かかったそうです。発売して3か月後、52歳で多くのファンに惜しまれつつ、石原裕次郎はその華麗な生涯を閉じました。

8. 熱き心に

昭和60年の秋、味の素「マキシム」のCMソングに小林旭を起用することが企画され、大瀧詠一に作曲が依頼されました。小林旭の大ファンを公言する大瀧が壮大なスケールの曲を完成させ、作詞を阿久悠に委ねました。この男なら壮大な歌詞が似合うと考えた阿久悠が日本離れした風景と浪漫をメロディーにあてはめこの歌が誕生しました。録音スタジオに入ってイントロを聞いた小林旭の頭に西部の荒野を疾走する駅馬車や馬にまたがるカウボーイの姿が一瞬にして浮かび、朗々と歌い上げました。60年の年末から翌年にかけて大ヒットし小林旭の代表曲となりました。

第3部 混声合唱組曲「山に祈る」 構成・作詞・作曲 清水 脩

1. 合唱組曲「山に祈る」が生まれた経緯

昭和33年3月17日、上智大学山岳部OBの飯塚揚一君は先に登山した仲間に追いつくために単独で前進キャンプのある牛首コルへ向かいました。大天井^{おてんしょう}まで辿り着いたところで猛吹雪に遭いここでビバークして一夜を明かしました。18日になっても天候は回復せず、外に出ることもできず、ついにはそのまま凍死してしまいました。薄れゆく意識の中で、迫りくる死の恐怖と闘いながらビバーク中の様子や、お母さんへの思いを持っていた手帳に書き残していました。

長野県警察本部は頻発する山での遭難防止のために、遭難した子供の母親から手記を集めて一冊の「山に祈る」という小冊子を発行しましたが、巻頭に掲載されたのが飯塚君の母親 飯塚恵子さんの手記でした。週刊誌でこの手記のことを知ったダークダックスは長野県警の許可をもらってこれを合唱組曲にする企画を立て、清水脩に作曲を依頼して昭和35年に完成し、男声4重唱と小管弦楽の組曲としてその年のダークダックスリサイタルで初演されました。

清水脩はこれをピアノ伴奏版に編曲して男声合唱組曲を、さらには混声版も出版して瞬く間に全

国の合唱団で競演が続き、いまに至るまで山をテーマにした合唱組曲の名作として歌い継がれています。

清水脩は作曲に込めた思いを次のように語っています。

内容は、山で遭難した息子が残した最後の手記と、我が子を亡くした母親の悲しみを母親の朗読と合唱とで進めたものであるが、これは音楽物語であるためにいくらか誇張されたところもあるしフィクションもある。曲はできるだけポピュラーなものにしようと誰もが口ずさめる平易なメロディーで埋めた。主人公の元気な姿から、死に至る筋に合わせて最初の「山の歌」から最後の「お母さんごめんなさい」に至る6曲は明るい曲調から次第に暗い曲調に移ってゆくようにした。

1. 山の歌
2. リュック・サックの歌
3. 山小屋の夜
4. 山を憶う
5. 吹雪の歌
6. お母さん、ごめんなさい

2. 飯塚揚一君の残した日記（原文）

17日 早く皆に会いたかった。岡部を燕山荘に残して、大天井まで来る。吹雪でトレースわからず、時間は4時なのでビバーク地探す。きょうはビバークか。

18日 午前7時15分。いぜんとして吹雪おさまらず。昨日の5時より14時間と25分たった。昨夜は6時間ぐらい眠ったが、場所がよくないので寝苦しかった。きょうの明け方より腹の方が体温でぬれて来た。今朝パンビタン5個をのむ。食欲はない。乾パン10枚あるから儉約して食うつもり。ハムはシラフの下なので出せない。春の吹雪だから長くは続かないと思うが、今ばんもここにいれば、明日はよくなると思う。目下のところ、シラフもシラフカバーもぬれているので困るが、ガマンが大切。小屋がすぐ近くにあるのだが、疲れているので天候待ち。お母さんごめんなさい。まだ4人の弟、姉、妹がいます。みんなによろしく。お母さんのことを思うとどうしても帰りたい。 13時15分 いぜん吹雪激しく視界きかず。時々顔を出して見るが出発は出来ない。下半身が完全にぬれて苦しい。何故一人で無理をしたのかいまさら悔まれる。山の天候のカンも悪かった。山でうぬぼれず常に自重すること。

3. 母親 飯塚恵子さんの「山に祈る」に掲載された巻頭文の一部抜粋（原文）

「揚ちゃん……」母さんは、揚ちゃんと心に言っただけで、もう胸がぐんぐん苦しく、悲しみに押しつぶされそうです。もう何も言いたくはないの。けれど揚ちゃんに言いたいことは山ほど連々と続いて、いっぱい限りなくあるのです。（中略）揚ちゃんが北アで遭難する数日前、札幌のスキー行から元気で帰宅した姿をなぜかいじらしく、揚ちゃんがヒザもとにはってきた赤ちゃんのように感じられた。そして毎日考えておりました。学業も終わり、社会人として巣立った姿にあれこれと……。アメリカの就職も実現の手前であり、お嫁さんや結婚の宴会場まで想像しては、母さんの胸は幸福にふくらんでいたものでした。それなのに一瞬にして永遠に帰らぬ別離の日が訪れるとは……。母さんの幸福な運命はいつぺんにつき落とされました。消しても消しても消えやらぬ苦しみをおいて、とうとう去ってしまったのです。今では最後の手記を錦の袋に入れ、毎日お経をあげています。大分じょうずになりました。揚ちゃんも別世界で母さんの行動をみているでしょう。（中略）揚一は身をもって悲惨な体験をしてしまいました。母さんはこれ以上若い人々を落命させたくない。母さんのように「悲しい母」をつくりたくない。（以下略）

プロフィール

指揮者 角 祐一

高校で合唱活動開始 大学時代はグリークラブで学生指揮者として活躍
2003 年 さかえ男声団員指揮者
2007 年 “さかえダンディーズ”結成、毎月1～2回のペースで福祉施設訪問
2011 年 FM戸塚「コーラスであの歌この歌」番組パーソナリティーを1年間担当
2014 年 老人福祉センター横浜市泉寿荘趣味の講座「初めての男声合唱」講師
講座終了後は「いずみメールクワイア」を創立 指揮者に就任
2016 年 横浜市栄区社会福祉協議会功労賞受賞
2017 年 横浜さかえ男声合唱団指揮者就任



<指揮者からひと言>

私が初めて「山に祈る」を聞いたのは高校時代 確か2年生の時だったかと思います。ダークダックスのコンサートが岩国であり、夏川静江が朗読を担当していました。ダークダックスの大ファンでコーラス仲間と、ともしびなどカルテットのまねごとをしていたこともあり生のハーモニーに酔いしれると同時に、この感動的な物語に涙したことを今も鮮明に覚えています。

学生指揮者としてもこれを指揮する機会もあり、学生時代の私の一番の思い出の曲ともなりました。あれからなんと60年の時を経た今、多くの仲間と共に再びこの曲を演奏できる幸せを感じずにはられません。

ピアニスト 永井 博子



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻首席卒業。武岡賞受賞
読売新聞社主催新人演奏会出演
ドイツ国立フライブルク音大大学院ピアノソロ、及びピアノ室内音楽科卒業
ドイツ芸術家資格試験最優秀合格
畑中孝雄、伊達純、柳川守、H・バルト、H・ヘルの各氏に師事
器楽、声楽、合唱等の伴奏者として活躍
藤沢音楽家協会会員

<ピアニストからひと言>

前回、水のいのちの時は客席で聴かせて頂きました。その一年後には、さかえ男声の皆様とリリスホールで共演させて頂きました。そして今回、この鎌倉芸術館大ホールで混声の皆様とご一緒できます事はこの上ない喜びです。角先生のご指導の元で2年近く地道な練習を積み重ねて参りました。懇親会などを通じて皆様とも親しくさせて頂いて、ステージに向かう気持ちも一つになり高まってきたように感じています。その成果をお客様にお届けできますように心から願っています。

朗読 田畑 智朱希

栄区生まれ、湘南育ち
学生時代からコミュニティFMラジオ局にてラジオ番組に携わり、その後、フリーランスに転身
フリーランス時代は、県域ラジオ局で番組を持ち、2011年に藤沢のコミュニティラジオ局レディオ湘南のスタッフ・パーソナリティとして復帰
様々なイベントや披露宴の司会、ナレーションなどを担当

<ナレーターからひと言>

今回は、このようなご縁をいただきとても嬉しく思っております。
私には”新しい世界に飛び込む”と言った感じで、とても楽しみです。



出演者のひと言

S ソプラノ A アルト

S 池谷光代

角先生、永井先生に導かれ合唱の魅力にすっかり目ざめてしまいました。

毎日練習日が待ち遠しくメンバーの方達と共に楽しく歌える喜びと幸せ、充実した日々を過ごすことが出来ました。観客の方達が満足してくださるよう頑張ります。

S 上田恵子

長年、女声コーラスの美しさを楽しんでいますが、混声合唱ならではの厚みのあるハーモニーも魅力的で、沢山の愛唱曲と共に「山に祈る」は男声の重厚な声が活かされていて、楽しく練習させて頂きました。

S 金子則子

初めて出会った曲「山に祈る」を大勢の仲間と練習を重ね、改めて歌うことの喜びに感動し、これからも大切に歌い続けていきたいと思います。心を込めて歌います。

S 坂倉みなみ

第三部の組曲「山に祈る」は明るい良い歌い出しから悲痛なクライマックスへ。劇的で哀しく美しい曲で歌心を刺激されましたが、難しく、何度も練習を重ねました。まだまだ未熟ですが、精一杯歌います。

S 佐々木友子

やっとこの日が来ました。始めて混声コーラスで歌わせていただきます。一生懸命練習してきました。その成果が出たら嬉しいです。おいで下さった皆様有難うございます

S 白石京子

混声合唱、月2回の練習は毎回楽しく時間の経つのが早く感じます。「山に祈る」とは初めての出会いです。歌えば歌うほど難しく、いつの間にか母親の気持ちを思い心が痛みます。本番はナレーションも入り、どんなステージになるのでしょうか楽しみにしています。

S 鈴木ゆき子

特別企画によるコンサートもこれで2度目の出演となりました。今回も多くの名曲に出会い、沢山の歌を歌うことになりましたが、聴いて下さるお客様にどれだけ詩の心が伝えられるか、日頃の練習の成果が出せるよう心を込めて歌いたいと思っています。

S 竹之内弘美

混声合唱を一度体験したいという思いがありました。角先生のすばらしいご指導、皆様の歌声につつまれて歌える幸せを感じました。ピアニストの永井先生の演奏の美しさにも心ひかれています。

S 豊福寿賀子

「山に祈る」はこの神奈川の地で何十年も前に歌った学生時代の懐かしい思い出の曲です。いつかもう一度歌いたいと思っていたので良い機会に恵まれ青春時代が蘇って来ました。いい曲はずっと歌い継がれて欲しいです。

S 橋本郁子

混声合唱として様々な歌を正しく楽しく歌う。中でもこの度の組曲山に祈るに出会えたことがとても嬉しくて。又とても難しく歌い熟すのに時間がかかりました。山に挑む仲間達が厳しい自然の力に敢え無く屈してしまう。でも私達は力一杯歌います。どうぞお聴きください。

S 長谷川典子

鎌倉芸術館の大ホールで初めてのコンサート。

角先生の熱心なご指導のもと私も歌える様になりました。練習をしながら、あれも、これも先生からご指導頂いた事を思い出しながらありがたく幸せを感じていました。角先生、永井先生に感謝しております。

S 廣瀬良子

横浜さかえ男声合唱団と共に！

歴史ある横浜さかえ男声合唱団に参加し組曲「水のいのち」「山に祈る」と二度のコンサートに参加する事ができてとても光榮に思っています。そして何時もの楽しい練習風景が皆様に伝わり私達の喜びの歌声が会場いっぱいに響き渡ります様に願っています。

S 細田智恵子

この度「山に祈る」を練習して参りました。子供を育て大きくし、本当に残念、心が痛みます。人生喜びと悲しみがありますね。私も82歳。こんどこそ、やめようと思いながら歌っています。鎌倉芸術館大ホールへいらして下さいまして誠に有りがとうございます。私も頑張って歌います。

S 宮崎公子

ウィットに富んだ角先生の優しい御指導と永井先生の素晴らしい伴奏に導かれ歌える幸せを感じています。そして混声ならではの素敵な曲に出会える喜び。毎回楽しく練習に参加させて頂いています。

S 八神和子

2年前の「水のいのち」に続いての参加になりました。
「山に祈る」も大変感動的な曲で、この様な素晴らしい曲に再び出会え嬉しい限りです。練習時はいつも終曲で感極まり・声が詰まってしまうことが度々ありました。本番では、終曲までしっかり歌えます様に！

S 山田圭子

「山に祈る」を初めて聴いたときは、どのような気持ちで歌えばよいのだろうと思いましたが、あっという間の2年間でした。今日は歌える喜びを胸に、混声合唱の皆様と心を一つにして歌います。

A 井澤愉美子

私は人とハモって歌うのが大好きです。面白そうな企画だなあと思って今回初参加。角先生、永井先生、そして多くの歌の仲間たちとの出会いがあり、月 2 回の練習日が楽しみでした。実話を基に作られた「山に祈る」は、場面を想像すると胸に迫るものがあります。

A 井上信子

「山に祈る」は高校でのなつかしい曲です。おぼろげながらうかんでくる音たちに助られながらも新たな気持ちで歌っています。

いつもの女声合唱とは違うハーモニー、選曲など楽しんでいます。課題は暗譜です。

A 金井芳子

女性も募集というチラシを見つけて申し込みました。地元の事情に疎い私は横浜さかえ男声合唱団を知りませんでした。混声が好きな私は、今、力強い男声の中でアルトとして楽しく声を出させていただいています。

A 亀ヶ谷玲子

二年前、学生時代の先輩に誘われて混声合唱に参加しました。女声合唱しかやった事のない私は最初は戸惑いましたが、角先生はじめ皆様優しい方々で楽しく練習しています。「山に祈る」は難しく苦戦しましたが、今日はその成果を発表したいと思います。

A 武井和子

“水のいのち”に続き、今回も「さかえ男声と混声を楽しむ会」の出演が叶いました。毎回の角先生の暖かい御指導の下、楽しく練習でき、私にとってとても大切な時間です。楽しんで歌います。

A 田中信子

前回の「水のいのち」に続き2回目の参加です。朗読入りの組曲は初めてで、とても新鮮です。
(遭難するという悲しい曲ですが)

練習はいつも楽しく参加していますが、毎回同じところを注意され、先生もあきれながらもねばり強くご指導していただき、とても充実した時間です。

A 堤たきえ

毎回楽しく練習に参加出来ました。年齢を重ねて譜読みや歌詞の覚えの悪さに四苦八苦!!

混声合唱のハーモニー、仲間との一体感が皆さまに届く様、心をこめて歌います♪

A 長谷川恵理子

山登りには縁のない人生を送ってきたので、何故山に登るのかという心情がわかりませんでした。歌に置き換えたらスッと入ってきました。人はそこに歌があれば歌うのです。

A 藤田正子

コーラス大好きです。皆の心がひとつになり素晴らしいハーモニーを味わえることを求めて、続けています。今回は60年前に感動した「山に祈る」を歌うことが出来、楽しみです。

A 三木星子

今回混声合唱に仲間入りさせて頂き感謝です。隣から重厚な声が響いて来てとても気持ちよくその中にいる事が嬉しく楽しく練習出来ました。「群青」と「山に祈る」に出会えたのも良い思い出です。

A 宮坂登美子

由緒ある横浜さかえ男声合唱団の皆様との出会いがありご一緒に歌える楽しい時を幸せに思います。

諸先生方の心温まるご指導に感謝しつつ練習を重ねてまいりました。混声ならではのハーモニーを奏で思いをのせ響き合える瞬間は、至福の時です。会場いっぱいに歌声をお届け出来ますよう心込めて、伝えたいと思います。

A 宗村八重子

幼い時に海で遊び若い頃は山に憧れ特に北アルプスの槍岳に登った事を懐かしく思い出します。今歌が大好きな男声の方々とご一緒にたのしかった山登りの思い出を胸に「第九」の懐かしい鎌倉芸術館で歌える歓喜(よろこび)に感謝致します。

A 山室恭子

「山に祈る」この遺書の若者は槍ヶ岳で遭難した様子です。私は63歳の時夫と槍へ登りました。その時高校生2人が先登隊として重いテントを背負い歩いている様子が苦しそうで、同行の女医の友人が休むよう忠告した記憶が鮮明です。一生懸命歌います。

A 吉田綾子

女声合唱団で長く楽しんでいますが、今回混声合唱に初挑戦しました。戸惑うこともありましたが、練習は楽しい雰囲気の中充実したものでした。ありがとうございました。

T1 トップテナー T2 セカンドテナー

B1 バリトン B2 ベース

T1 浅田一彦

さかえ男声に所属していました。コロナ禍となり練習に参加するのを見合わせ、退団という形を取りました。昨年の演奏会を聴いて、改めて「合唱は素晴らしい」と思い混声に参加することにしました。

T1 佐々木勝栄

合唱組曲「山に祈る」を歌いたくて、さかえ男声合唱団の混声合唱を歌う会に参加させて頂きました。50年以上前に歌ったこの曲は、山が好きだった自分に強烈な印象を与えました。山で遭難した息子の日記と母の思いが語られながら歌は進みます。

T1 嶋田芳郎

さかえ男声に入団し 3 年、鎌倉芸術館という最高かつ最大の槍舞台を迎えました。

力強い男声合唱だけでなく、感動的な『山に祈る』を混声合唱で演奏でき、大いなる喜びを感じています。

T1 瀬尾弘吉

今回の演奏曲目に「山に祈る」が選ばれた時、20 年以上前に同曲の男声バージョンで歌った時のことを思い出した。目頭が熱くなったことを。

T1 角村新太郎

今年も、しかもこの会場で、歌うことが出来るのは有難く、特に聴衆の皆様に感謝します。

「有朋自遠方来 不亦楽乎」老後の趣味にと始めたこの仲間との合唱と、別にやっている器楽(ビオラ)とも、世紀を越えて初心者を買っています。

T1 宮崎慎一郎

さかえ男声の新人教室で育てて頂き、3 年目にして大舞台に臨むことが出来ました。角先生には粘り強く、時には厳しくご指導を頂きました。「群青」は娘が卒業式で歌った曲です。組曲「山に祈る」は難しい曲ですが、精一杯心を込めて歌います。

T2 飯田擴充

これまで、コーラスと自強術健康体操を約40年の間、続けています。

現在まで元気を続けることができているのは、この両方のパワーが相互に働き合っている結果であると、ありがたく思っています。

T2 塩山弘

「山に祈る」は男声合唱で一度歌いましたが、今回混声で歌うと、音域が広く、やはり迫力がありますね。

山と言えば、高校時代に、立山へ行った位で、観光バス利用中心の旅行でした。卒業 50 年後の H16 年に、思い出旅行として同じ先生の引率で再度行きました。

T2 鈴木宏一

男声合唱では「山に祈る」の中の数曲を歌いましたが、混声合唱で全曲を歌うのは初挑戦です。

前回の特別企画「水のいのち」もそうでしたが、名曲だけにこの組曲も男声版と混声版が揃っていて、今回は混声合唱で全曲が歌える良い機会となりました。

T2 平山正宏

「山に祈る」を初めて歌ったのは、さかえ男声草創期のことであり、しかも抜粋だったので全曲の今回は喜んで参加させてもらった。しかし、前回はバリトンだったが今回はテノール。Second でも私にはキツすぎると感じる。

B1 近藤紘士

今回の『山に祈る』は過去男声で 2 回歌いました。熱のこもった朗読が圧巻で、涙もろい性分の私は終盤に向けて涙が出るほどの経験をしています。作曲者清水脩のダイナミックな素晴らしい組曲を肌で感じています。朗読に負けない立派な演奏にしたいですね。

B1 清水鎌司

今回鎌倉芸術館大ホールで演奏することになり、我が合唱団もいよいよ立派な大ホールに挑戦するのかと気分が高揚しています。「山に祈る」は様々な感情が込められた曲なのでどう表現するか難しい。皆さんにその思いが上手く伝わるよう精一杯歌います。

B1 鈴木一如

入団して2年。昨年のウクライナチャリティーに続き2回目の大舞台だ。音階通りに歌えるようにはなったが、余情深くといわれるとカラオケ調になる癖が抜けない。耳を澄まして共に歌う仲間の声をよく聞いて歌うよう心掛けたい。

B1 鈴木修三

混声のバスを担当している鈴木です。

ハモリの心地よさを体感したくて一年半前に入会しました。さかえ男声はレベルが高くて、そのお陰でハモリを体感できて楽しく練習しています。本番ではハモリの一翼を担えるよう頑張ります。

B1 森博昭

合唱に関わって60有余年；男声・混声・バロック譜と宿題多々・・・今やボケ適齢期ながら楽友たちのお陰で日々の活性を得ている次第。感謝・感謝です。

B2 浅井豊

今回、「山に祈る」のベース・セリフ担当ということで、マイクを使わずにあの鎌倉芸術館大ホールという大きな会場で、声を届かせることが出来るのか不安がありますが、精一杯明瞭な発音を心がけます。

B2 板垣滋

中学2年の夏休み、一泊二日の八幡平往復登山に参加した。帰路は激しい腹痛で、殆ど夢遊状態で帰宅した。以来、2度と「山に挑む」ことはなかった。でも今は、故郷の山と、山あり谷ありのわが人生に思いを馳せ、感謝の祈りを捧げよう思う。

B2 福井康行

学生時代は男声合唱の魅力に取り付かれ、仕事のリタイア後は主に混声合唱を30年近く楽しんできました。今回演奏する「山に祈る」の組曲は私の学生時代に初舞台となった定期コンサートで歌った曲です。一番思い出深い曲なので、もう一度あの時の感激を味わいたくて参加しました。

B2 山下一郎

小学生で合唱団に入団。発声法・呼吸法を学び練習を重ねてハーモニーの素晴らしさを知りました。大学で、合唱団に入団。定期演奏会を毎年経験し様々な曲を歌いましたが、今日60年ぶりに『山に祈る』を歌うことになり感無量の心境です。

B2 葭谷庄平

第一部の「群青」は2011年の東日本大震災と続く原発事故による避難で日本各地に散り散りになった福島県相馬市の小高中学校の生徒達の再会を願う強い思いが込められた歌です。今日はその思いを込めて歌います。



前回の「特別企画コンサート」 2023年4月16日 於：栄公会堂

最近の活動状況

令和6年 5月19日(日)	横浜さかえ男声合唱団 創立 35 周年記念 ウクライナ人道支援チャリティコンサート
令和6年 6月14日(金)	本郷台ふれあいサロン 訪問演奏
令和6年 8月23日(金)	中野 CP ふれあいの会 訪問演奏
令和6年 9月18日(水)	サロン庄戸訪問演奏
令和6年 10月20日(日)	栄区秋の音楽祭・合唱の祭典 2024 出演
令和6年 11月26日(火)	日野南オレンジカフェたんぽぽ 訪問演奏
令和6年 12月18日(水)	三水会訪問演奏
令和6年 12月25日(水)	老健『あさひな』クリスマスコンサート

♪ 次回コンサートのお知らせ ♪

横浜さかえ男声合唱団コンサート 2026

友情出演 いずみメールクワイアと共に

- 1 男声合唱愛唱歌 いざ起て戦人よ 秋のピエロ 富士山作品第肆 ウ・ボイ 他
- 2 ダークダックスヒット曲 ともしび 母さんの歌 北上夜曲 花のメルヘン 他
- 3 映画・ドラマの主題歌
ローハイド 黄色いリボン 北の国から 僕の妹に 群青 麦の歌 他

令和8年4月～5月(決まり次第ホームページに発表)

会場(予定) 戸塚区民文化センター さくらプラザホール(戸塚駅そば)

入場料 1,000円 全自由席

♪ 団員大募集 ♪

※ 未経験者でも大丈夫(新人教室あり) 経験者は大歓迎

練習日 毎週土曜日午後(内2回は混声合唱)

練習場 SAKAESTA(本郷台駅 徒歩3分)・他

団費 月3,000円 コンサート積立金 500円

♪ さかえ男声と混声合唱を楽しむ会 男女大募集 ♪

一緒に私たちと混声合唱を楽しみませんか

今回は組曲「蔵王」や世界の名曲を予定しています

練習日 月 2回 土曜日午後

練習場 SAKAESTA(本郷台駅 徒歩3分)・他

会費 月 1,000円 コンサート積立金 500円

女声大歓迎 月2回混声練習日だけなら参加できるという男声も大歓迎

さかえ男声と一緒にいろんな歌を人生を楽しみましょう

連絡先 メール sakaedansei@gmail.com 電話 045-892-9752